

3-10 鎌倉における地下水位観測

Observation of Groundwater Levels at Kamakura

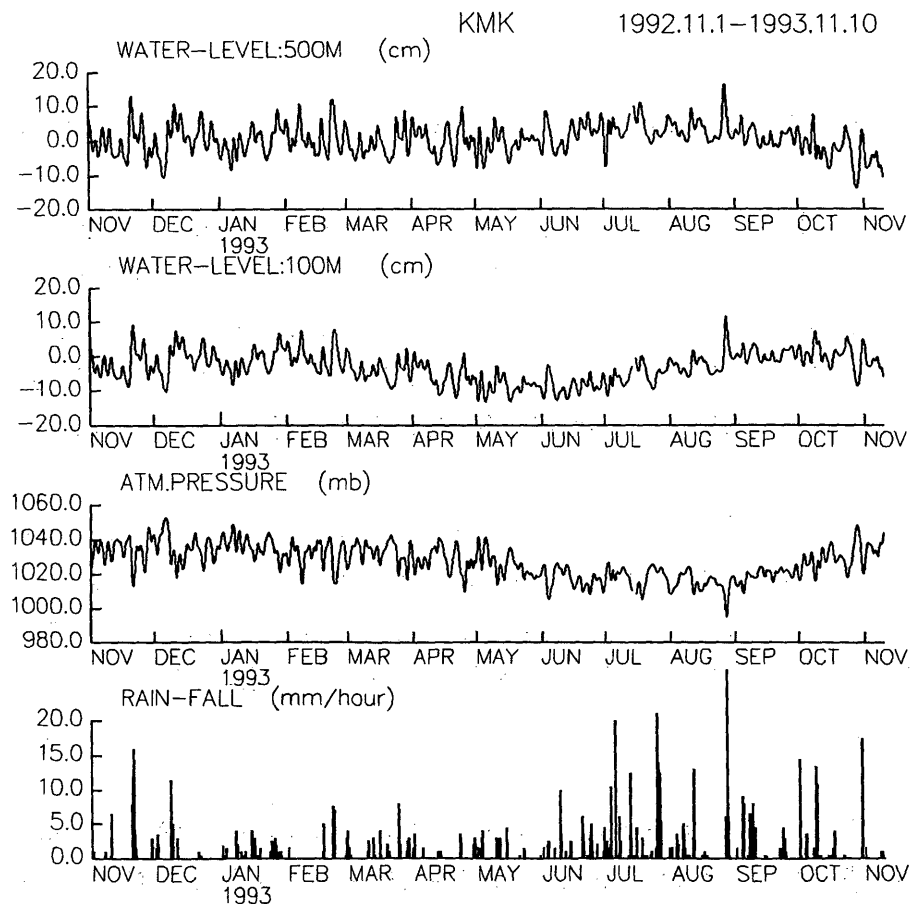
東京大学理学部

Faculty of Science, The University of Tokyo

鎌倉市内KMK観測点において1985年4月より、深度500mと100mの2つの観測井において地下水位の連続観測を行っている。これまでに、1986年6月24日の房総半島南東沖地震（M6.5）と1987年12月17日の千葉県東方沖地震（M6.7）に対するコサイスミック変化、1992年2月2日の東京湾浦賀水道付近の地震（M5.9）の約1～1.5日前に異常変化が観測されており、1992年11月までのデータとともに報告済みである¹⁾。第1図に、1992年11月～1993年11月のデータを大気圧の変化、降水量とともに示す。地下水位と大気圧は一時間毎の値（積算値）の24点移動平均である。

参 考 文 献

- 1) 東京大学理学部：鎌倉と伊東における地下水位観測，連絡会報，49（1992），205-209.



第1図 KMK（鎌倉）における地下水位変化と大気圧変化、降水量（1992年11月～1993年11月）

Fig.1 Temporal variation in groundwater levels of 500 m deep and 100 m deep wells at KMK (Kamakura), together with atmospheric pressure and rain fall at KMK (November 1992 - November 1993).